

見沼中学校区義務教育学校に関する説明会 会議録（荒木小・保護者①）

- 1 開催日時 令和2年10月24日（土）午後1時～午後2時50分
- 2 開催場所 荒木小体育館
- 3 出席者 保護者15名、一般1名
- 4 教育委員会 鈴木教育長
 学校教育部 吉田部長、荻原参事、諸貫次長
 学校教育課 須永主幹
 教育総務課 上野主幹、久積主査、柏瀬、田沼

5 会議内容

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
鈴木教育長	2 あいさつ
諸貫次長	3 経過報告について説明
鈴木教育長	4 義務教育学校の設立について説明
出席者	5 質疑 以前聞いていた話だと、他の地域から生徒を受けないと聞いていたが、市内全域から受けると考えが変わったという認識でよいか。
吉田部長	計画を作成した時には他の地域から受け入れるという計画はなかったが、議会や地域から色々な意見をいただき、少しでもこの義務教育学校を良い学校にするため、他の地域から受け入れる事も可能という事に変更した。
出席者	今、小学生がいて、これから小学校に上がる子もいるので、長い目で見ると不安がある。確かに小学校の人数は増えるが、中学校の人数は変わらない。他校から受け入れないと聞いていたが、最近になって受け入れると変更になったと耳にして、ころころ変わっても不安が増してしまう。変わった事がこちらには流れて来ておらず、子供の事に関わってくる事なので、細かい事でも知らせてほしい。こういう学校にしますという説明がもう少しほしい。説明会だけでなく、学校から配布する手紙などで目を通す機会がほしい。他校から来る事ができるようにして人数を確保するというのも一つだと思うが、私だったら選べるのであれば長中など人数の多い所に行かせたいと思ってしまう。他の中学校と併せさ

<p>諸貫次長</p>	<p>せるなら人数が増えるのが確実だと思うが、あの見沼中に他から受け入れますと言って本当に来てくれるのかも不安だし、人数が増えるというのは信じきれない。場所的にも駅から遠くて、どのようにして通うのかとなった時にスクールバスが街なかまで行って、連れて来てくれるのか。義務教育学校というのは一つの学校だから、中学校に上がるタイミングだけでなく小学校から受け入れ可能なのであれば、小学校自体も増えるかもしれないが、それよりも中学校の中で一緒にした方が良いのではないかと思う。そういった他の案も聞かせてもらいたい。</p> <p>教育委員会も色々なパターンを想定して、今の最善は義務教育学校と考えている。中学校を先に再編する、仮に長野中と再編成するとすると、長野中に皆さんが行く事になり、小学校は地域に残るが、中学校は地域になくなる事になる。小学校が減ってきて、その次の再編成を考えないといけなくなった時に、学区で見ると長野中学区なので、その中で再編成となり、いずれは小学校もなくなってしまうと心配している。それならば、他から受け入れて1クラスが維持できるようにする。もう一つは、小中一貫教育の流れは市内全域で進めていく。小学校の先生に英語専門はいないので、小学校5、6年生の英語は中学校の先生に教えてもらった方が良い。教科担任制を小学校高学年から始める事は、国の方でも進んでくると思う。中学校の先生が小学校に出向く事になるが、中学校の先生の人数がある程度いないと難しい。義務教育学校というのは小学校・中学校の先生の区分けをなくす制度であり、両方の免許を持っている先生を配置するのが基本となる。そうすると全体の先生の中で専門教科の先生が配置する事ができる。色々なメリットを考えた上で、義務教育学校とした。ある程度規模を確保しないといけないので、その先の計画もあるが、小学校と一緒に中学校が残っている状態と小学校しか残っていない状態では状況が違ってくると思う。小学校だけの統合でいいのではないかという意見もあるが、小中一貫教育の動きをする時に難しいのではないかと思う。</p>
<p>吉田部長</p>	<p>情報が変わっているというのは申し訳ないと思う。今回、ガイドブックを作っており、新たな情報や大切な事はガイドブックなどで伝えていきたい。その他にも温故創生も学校から配っていききたいと思う。</p>
<p>出席者</p>	<p>10年後の再編成の時には、うまくいけば、この義務教育学校はそのまま残るのか。逆に10年後なくなってしまう可能性が高いのか。そういった事を考えた時に少し校舎を改修したくらいだと潰れても仕方ないと思う。10年後に残る可能性というのはあるのか。</p>

<p>諸貫次長</p>	<p>計画だと、国道125号より北側で新たな学校を考えている。計画の時は他からの受け入れという考えはなかったので、子供達は減っていく見込みだった。10年後、見沼と南河原を統合してもクラスは増えず、他から呼び込む必要がある。地理的には北小があるので、その子供達を含めて一つの学校にする計画がある。それで、30年～40年くらいは大丈夫であると考えている。10年後に必ずなくなるのかについては、義務教育学校は良い制度だと教育委員会では信じているので、他の地区からの受け入れをして学校の規模を保つ事ができ、存続できるのであれば当然存続させたい。ただ、その時に南河原小と北小の校舎は建て替え時期に当たってしまい、色々な事を加味し10年後としている。</p>
<p>出席者</p>	<p>行田市内では、10年後は義務教育学校の方が多くなる計画なのか。</p>
<p>諸貫次長</p>	<p>小学校の子供が全て同じ中学校に行くというのは中々ない。複数の小学校が中学校に来る方が多い。子供の推移にもよるが、10年後に義務教育学校が多くなっているかという点と難しいと思う。南河原や埼玉は小学校と中学校が1対1になっているので、一体型でできるのであれば進めていきたい。その他の所では中学校にある程度の規模があり、先生の人数がたくさんいるので、先生が小学校に行き行って教える体制が取れるのではないかと思う。</p>
<p>出席者</p>	<p>見沼中はそれほど大きな学校ではないと思う。プールのかさ上げについて小学生はそれでいいかもしれないが、今度は中学生から不安や不満が出る。校庭もそんなに広くない記憶があるが、業間にも人が多すぎて遊べないとか、小学生用の遊具を設置する事で校庭が狭くなり中学生も満足に活動できないという事があるのではないか。</p>
<p>諸貫次長</p>	<p>校舎の配置はガイドブックに案を載せている。見沼中は3クラスあった時代があり、そのころは1階に1年1組から3組あった。計画当初は12クラス必要という推計をしていたので増築が必要であると伝えていた。今は10クラスという想定になったので普通教室に入りきり、特別教室の使い方を見直す事で色々な活動をする多目的室も配置している。例えば、子供一人ひとりにタブレット端末を配布する事になっており、固定式のパソコンのあるパソコンルームは必要なくなるので、4階に多目的学習室として広く使えるようになる。校舎外については、時間割の中で調整する事で対応できる。小学校用の遊具は保健室の前あたりを考えていて、校庭からのボールなどが危なくないようにフェンスを設</p>

	<p>ける予定である。見沼中の校庭の大きさは市内でも大きい方で、西中と同じくらいのスペースがある。中学生は業間にはあまり遊ばないと聞いているし、活動する人数を考えると、時間割を考えれば危険なく遊べると思う。実際に他の義務教育学校では中学校の子は下の子の面倒をよく見るような結果も出ている。危ない活動するのは避けなければいけないが、9年間一緒にいる効果も出てくると思っている。体格差による部分については改修して対応する。</p>
出席者	<p>10年後に北部地区義務教育学校を作るとするのは、新しい校舎を作って、北部を一つの学校とする認識で間違いないか。</p>
諸貫次長	<p>場所をどこにするかは決まっていないが、計画上は子供達が減り続けていくとその必要が出てくる。他から受け入れる事で、存続ができるなら存続したい。北小の耐用年数が来た時に北小の子供達をどうするのかも考えていかないといけない。計画上は北部地域で一つの学校にするというのがあるが、状況によっては計画を見直す必要もあると思う。</p>
出席者	<p>地元の協力なしではできないと言っていたが、署名の結果がこれだけ反対が出ている中、このまま進めるのか。</p>
鈴木教育長	<p>署名の結果は重く受け止めている。その一つの対応として保護者と地域の方に再度説明して、子供の将来について一番考えを持つ保護者の意見を把握した上で話を進めていきたいと考えている。</p>
出席者	<p>見直しを検討するという事か。</p>
鈴木教育長	<p>計画をどうするかという事を、一度立ち止まって再検討する。</p>
出席者	<p>他の子を呼ぶと言うが、来てもらうためのメリットはこの3項目か。</p>
鈴木教育長	<p>ガイドブックに書いてある特色ある教育と共に、子供によっては大勢のクラスで過ごすより、きめ細やかな指導が受けられる事で選択する人もいると思う。人数が少なくても、きめ細やかな指導をし、学力を上げていく、人間性を高めていく所に魅力を感じて来る選択もあると思う。</p>
出席者	<p>少ない人数が良いから来るというのでは、人数はそんなに増えないという事か。</p>

鈴木教育長	魅力はちゃんと伝えていきたい。
出席者	見沼グローバル科は他もそれなりにやっていると思う。他の地域から来る子にとって魅力となるのか。
鈴木教育長	他の地区の人にとっては見沼を良く知って誇りに思うというのは、実感として沸かないかもしれないが、先行き不透明で何が起こるかわからない中で課題があった時に自分で判断して解決する力を見沼グローバル科で付けていきたい。
出席者	1年生と中3が同じ施設で一緒に過ごす点に良い事もあるかもしれないが、一人っ子も多い時代に1年生からしたら急に大きい学年の子と一緒に生活する事になるので不安、心配に思う親もいると思う。良い事ばかりでなく、デメリットも把握しながら生活させる事も必要があると思う。デメリットも詳しく知りたい。
荻原参事	1年と9年が同じ施設で生活するのはデメリットの大きな一つだと思う。動線をしっかりと考えなければ、大きい子とぶつかっただけで小さい子は怪我をしてしまう。1～4年は外に出やすい1階で、よく使う遊具をまとめる形で低学年と中学生が重ならないような空間を作っていく必要があると思う。低学年が発するにぎやかな声で中学校の勉強が心配という声もある。特に8、9年生は4階にして、階を離して学習をしやすいようにする。デメリットの部分の対応策をしっかりと作った上で開校しないといけないと思っている。
出席者	1～9年生と一緒に過ごす事で、優しい心が育つとか、下の子の面倒をみると言うが、そのように危険だから区切られてしまうのでは効果が減るのではないか。
荻原参事	今の小学校でも1～6年の縦割り活動をしているので、どのくらいの規模で出来るかわからないが、1～9年生の活動としたい。1～4年生とかミドルだけとか様々な分け方をしながら、小さい子と触れ合い、上級生にもわかってもらい、活動の中から他者を労わる心を育てていきたい。
出席者	個人的な意見だが、優しい心が育つのは常に一緒にいるからこそ自然に身についていくものであって、給食をみんなで食べましようとかだけで簡単に身につくものではないと思う。1～4年生に分けて活動するの

鈴木教育長	<p>であれば小学校でもできる。中学生も人と接するのが好きな子は関わってくると思うが、勉強に集中したい子もいると思う。1～9年が一緒にという部分に必要性の良さやデメリットをもっと聞きたい。</p> <p>学校生活の中で大きい学年と小さい学年が一緒という部分は保護者も不安に感じていると思っている。豊かな人間関係は始終一緒にいるから備わる部分もあると思うが、学校なので交流や授業の中で計画的にここまで高めよう、心を育成しよう、あるいは交流の中身をここまでにしよう決めて、次の段階に進んでいく。一気にではなくて意図的に交流をしていく中で心を養えるのではないかと思う。安全面はできるだけ、改修や動線などを考えていく。8、9年生になると、やはり進学や勉強に集中という部分が出てくると思う。交流は計画を練りながら心や学力に重点的な形でカリキュラムを組んでいきたいと思う。常に遊んでいるとか授業で交流しているとかではないので、子供が安心して楽しく過ごし、授業に集中できるようにカリキュラムを作っていきたいと思う。</p>
出席者	<p>それであれば義務教育学校で一つの学校にする必要はないと思う。</p>
鈴木教育長	<p>義務教育学校の一番の利点は学力が向上する事。校長が1人で1つの職員集団として子供達全員を自分の子供の様に学年の区切りもなく授業に参加して力を付けていく。行田での一番の課題に、小学5年生で学力が落ちて、中学2年生でまた学力が落ちており、大きな段差を感じている。最近の話でなく何年もずっと続いており、少人数学級をしても、クリアできなかった。早期から子供達にとって魅力ある中学校の学習をさせながら、その接続を滑らかにするために小中一貫教育を行っていくわけだが、乗り入れ授業や教科担任制が別々の学校だと継続的に計画的に組む事が非常に難しい。そのため、学力の面で繋げながら、人間性も養っていくという事で義務教育学校の良さ、効果があると考えている。</p>
出席者	<p>それであれば、義務教育学校はどんどん増えていくと思う。現状で増えていないという事は学校教育自体の問題であって、義務教育学校にしたから改善するという統計が出ているとは思えない。今、義務教育学校にしても学力向上するとは思えないし、疑問がある。</p>
鈴木教育長	<p>色々な環境、子供の人数や通学区域など条件がそろわないと義務教育学校はできない部分があるので、どこにでもできるとはなっていない。行田市では6年前から小中一貫教育の研究をしており、その時に来た文部科学省の視学官の方に義務教育学校になっている学校の学力がどの</p>

出席者	<p>くらい上がっているかというデータを見せてもらった。小中一貫教育をやっている義務教育学校ではない学校と義務教育学校では、当時は A 問題、B 問題という学力テストだったが、いずれも 5 ポイントから 6 ポイント上がっているとデータで示してもらった。市川市にある義務教育学校では設立当初から子供の意識、学力、保護者の意識を 3 年ごとにアンケートをしているが、そこでも学力が伸びているという結果が出ている。教科担任制ができていて、9 年間のカリキュラムができていて、乗り入れ授業ができていて、いくつかの条件がきちんとクリアできていると学力が伸びるという報告があった。義務教育学校ではその条件がそろえる事ができる。そういう意味でも学力が伸びると思っているし、北部地域の子供達にはその潜在能力があると思っている。</p> <p>小規模特認校では、どんな子でも受け入れるのか。例えば他の学校で問題を起こした子や不登校だから環境を変えたいとか、そういったお子さんの受け入れ先という風になって、学級が荒れてしまう可能性がないのかなと思う。9 年間同じなので、その学校でいじめられたら他の学校へ行けるのか。</p>
鈴木教育長	<p>希望の子は受け入れる形である。どんな基準でどのようにするかはこれから検討していく。学習の内容は小学校の学習指導要領、中学校の学習指導要領を基にやっていくので、逆に市内外の小中学校へ転校も転入もできる。</p>
諸貫次長	<p>学校の中で居場所がなくなってしまった場合、環境を変えた方がいいという事であれば、校長の意見を聞いて、現在も指定校の変更する事はしている。</p>
出席者	<p>データを見ると、見沼中学校の生徒人数は 60 人になり、30 人減る事になって、部活動が今よりできなくなると思う。そのため、中学生にとってメリットは何もないように感じる。逆に周りの意見を聞いていると、中学生は受験勉強をしないといけない、成長期で小さい子の声でイライラするという話も聞いているし、小さい子は大きい子を見ると威圧感を感じて怖い。ここにいる人達はこの 10 年間に当てはまるので、自分達の子が試験的な状況になって不安でいっぱいだと思う。それを解消してもらわないと、納得いかないと思う。</p>
諸貫次長	<p>中学校のメリットもある。デメリットとして保護者の方が不安に思っている事も考えて示していきたい。以前、部活も市内全域でやったらど</p>

出席者	<p>うかという意見もあった。日常の活動では5、6年生が任意で練習に参加できるが、確かに試合は出る事はできない。</p> <p>義務教育学校をやる理由として、ここに学校を残したいからという話だったが、義務教育学校は10年間となっている。見沼中の校舎を使って義務教育学校が10年以上続くという事なのか。メリットだけでなくデメリットも教えてほしいという話に対して準備をしてくるという話だったが、今日準備がないようだがデメリットはたくさんあると思う。それについて皆さんに伝えてもらいたい。</p>
鈴木教育長	<p>1点目については、条件がそろえばここに残る可能性はある。様々な要因を十分に考えた上で、計画の見直しやその先の計画を煮詰めていきたい。2点目は、大方のデメリットは先ほど説明したとおり。一番大きいデメリットは固定化する事への不安だと思う。また、大きい子と小さい子がいる事によって危険があるのではないか、小学校高学年のリーダー性がないのではないかとこの事を中心に説明をしてきた。ただ、保護者の不安や疑問はたくさんあると思うので、今後も具体的に考えながら説明していきたい。</p>
出席者	<p>色々な要因があり、それによって存続するかわからないという事か。10年後も続きますという間違えた説明はしない方がいいと思う。今わかっている事は10年限りという事。その時点で校名や校歌は変えるルールなので、今作ろうとしている義務教育学校は10年限りというのが共通認識だと思う。その後続くかはその時しだいという事だと思う。教育委員会は義務教育学校のデメリットがわからないという事か。たくさんあると思うが、皆さんにお知らせする事が重要だと思う。他の義務教育学校は1学年3クラス以上あるが、見沼地区の義務教育学校は1クラスで、小規模特認校にしても2～3人しか来ないだろうから、一番大きなデメリットは9年間クラス替えが出来ない事だと思う。</p>
鈴木教育長	<p>2クラスを確保するのが市全体の再編成計画の基準である。将来的に小学校7校中学校4校とし、適正規模を保ちながら北部以外は500人程度の人数で学校を維持していく計画になっている。規模だけで考えると北部には学校がなくなってしまう。そのため、北部に学校を残したいという事で義務教育学校とするのが計画の方向性である。クラス替えがない事へのデメリットもあると思う。成功している義務教育学校の全てが大きいわけではなく、小さい義務教育学校も成功している。そのために異学年や学年のリーダー性などを工夫しながらやっている。部活動は</p>

出席者	<p>今後学校から切り離される可能性もあり、色々な意味で部活動は流動的な状態なので、十分注視しながら、義務教育学校でどのような部活ができるか色々な方法を考えていきたい。特に外部指導者を使うという事も検討していく。</p> <p>10年後になくなってしまいう計画だが、10年後に行田市を東西南北の4地区に分けると思うが、北部の中に北小が入っており、北部の括りの中でこの学校に必ず行かないといけないという決まりを作ってもらわないと、北小にとっては「今まで長中なのになんで北部に行かないといけないのか」となってしまうと思う。そういった決まりを作ってもらわないと、人数の多い所へ行きたいとか、スポーツの強い所へ行きたいとか、別の学校へ行ってしまう事になる。10年後の計画の時には反対派が多数出ると思う。そうすると地域に人数が増えるという見込みがなくなってしまう可能性が高くなると思うし、計画を進めるのも厳しくなってしまうので、きちんと進めてもらいたいと思う。</p>
鈴木教育長	<p>通学区域を変えるのは学校だけの話ではなく、地域の意見も聞いた上での話になる。現在の通学区域が決まった昭和55～56年の頃にも通学区域審議会には全地区から代表者が出て、話し合ったが、なかなか現在の形にはならなかったと聞いている。当時は人口も増えていて、各地域で同じような教育環境になるように、一つの地域の中で学校がわかれている所も結構ある。通学区域審議会を並行して開きながら、十分に検討していきたい。</p>
出席者	<p>義務教育学校は子供の事を考えたのか。話を聞いていると数字と学力、教育委員会の都合だけで子供一人一人の事を考えていないように感じた。親として子供には感受性をもってほしいので、そういった所が欠けた内容なのかなと不安に思った。</p>
鈴木教育長	<p>説明の仕方が十分でない事を申し訳なく思う。子供達が安心して楽しく学校にいける事を第一に考えていく。</p>
出席者	<p>保護者が見る事の出来るような義務教育学校の例があると良いと思った。10年後の再編成もあるし、行政なので予算もあると思うので仕方ない部分もあるが、せっかくやるのであれば予算をつけてもらって、「10年後があるから改修で」というのでは義務教育学校にするメリットは薄れてしまうと思う。メリット・デメリットは話を聞いていてなんとなくわかったのだが、実際の活動例を知れるとありがたいなと思っ</p>

	た。
諸貫次長	他の例を皆さんに提供できるように考える。予算については、限りがあるからここまでしかできないというよりは必要があるところにはかける事が必要であると思う。
出席者	ここにいる人は全体の人数からすると少ないと思う。これから計画の見直しという話もあったが、結局のところ、令和4年4月を目途に計画を進めるつもりでいるのか。説明を聞いてわかったようなわからないような感じで、これからも色々な意見が出ると思うので、時間をかけて説明をしていったらどうか。
吉田部長	保護者や地域に説明をし、保護者の意向を確認して、このまま進めるのか立ち止まるのかを一度判断したい。令和4年4月までには複式学級の解消を目指している。
出席者	須加小の知り合いがいて児童が少ないと聞いているが、小学校の統合を先にするのは不可能なのか。
吉田部長	資料1のとおり、計画の中で北部地域は義務教育学校が適しているとなっている。まずは義務教育学校に対しての賛否を保護者に聞き、場合によっては立ち止まって、計画を見直す必要があるのであれば、小学校同士の統合も踏まえて、計画を見直していきたい。
出席者	逐一報告をしてもらえるという事でいいか。
吉田部長	学校を通して、温故創生などで伝えていきたい。
司会	6 閉会